

つぎの文の（ ）に当てはまることば

を、あとの

からえらび、書きましょう。

① お母さんがむかえに来てくれたので、
(あんしん) した。

② 大きく元気なあいさつに (かんしん) した。

③ おおぜいの人の前で話すのは、とても
(きんちよう) する。

④ 明日は、遠足なので (たのしみ) だ。

きんちよう
あんしん
たのしみ
かんしん

国語
三―二

第一学年及び第二学年の内容
いろいろな言葉③

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎの文の（ ）に当てはまることば

を、あとの

からえらび、書きましよう。

① かさをもっていなかったので、雨がやんで
（ほつとする）。

② 友だちとたくさんあそんだので、（つかれ
た）。

③ 同じことをなんでも言われると（はらが立
つ）。

④ わすれものがないか（しんぱい）だ。

はらが立つ しんぱい ほつとする
つかれた

つぎの文の（ ）に当てはまることば

を、あとの からえらび、書きましよう。

① 教室きやうしつがきれいになると（**気もち**がいい）。

② みんなが、どこに行いったのかわからなくて（**こまる**）。

③ わたしはてつぼうがにがてなので、てつぼうがとくいな友ともだちが（**うらやましい**）。

④ しっぱいしたところをみんなに見みられて（**はずかしい**）。

こまる うらやましい はずかしい
気きもちがいい

つぎの文の（ ）に当てはまることば

を、あとの

からえらび、書きましよう。

① てんこうする友だちを見おくるとき、とて

も（さびしい）気もちになった。

② 楽しい夏休みが早く来ないか（まちどおしい）。

③ けがをしたので、外で遊べなくて（つまらない）。

④ はじめて二十五メートルをおよげたとき
のよろこびは（おすれられない）。

つまらない わすれられない さびしい
まちどおしい

つぎの文の（ ）に当てはまることばを、

あとの

からえらび、書きましよう。

① 先生せんせいにほめられて（うれしい）。

② ドッジボールでまけて（くやしい）。

③ 夜よる、一人ひとりでトイレに行くいのは（おそろしい）。

④ にんじんが（**きらい**）だ。

おそろしい きらい うれしい
くやしい

つぎの文の（ ）に当てはまることば

を、あとの

からえらび、書きましよう。

① おなかいっぱい食べたので（まんぞく）した。

② 大切なえんぴつをなくして（がっかりした）。

③ ハチがきゆうにへやに入ってきて
（おどろいた）。

④ キャンプのことを考えると（わくわくする）。

おどろいた わくわくする まんぞく
がっかりした

つぎの文の（ ）に当てはまることば

を、あとの からえらび、書きましよう。

① (あせる) とましますしっぱいしてしまう。

② ころんでけがをしたけれど、なかないように (がまんする)。

③ 今かんがえても、あの人ごみの中で母にあえたのは (しんじられない)。

④ たくさんのお友達と遊ぶと (楽しい)。

楽しい しんじられない あせる
がまんする

国語
三十八

第一学年及び第二学年の内容
いろいろな言葉③

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎの文の（ ）に当てはまることば

を、あとの

からえらび、書きましよう。

① ろうかを走はしってしまったことを（はんせい
する）。

② じゃんけんで勝かつことができず、とても
（ざんねん）だ。

③ 図工ずこうの時間じかんに、ロボット作りづくりに（むちゆう
になる）。

④ 先生せんせいにほめられて、すなおに（よろこぶ）。

よろこぶ はんせいする ざんねん
むちゆうになる